

(案)

国 研 審 第 ○ 号  
令和○年○月○日

総務大臣 林 芳正 殿

総務省国立研究開発法人審議会  
会 長 橋本 隆子  
(公 印 省 略)

国立研究開発法人情報通信研究機構の第6期中長期目標（案）について（意見）

令和7年11月17日付け総国技第166号をもって当審議会に求められた国立研究開発法人情報通信研究機構の第6期中長期目標（案）に係る意見は、当審議会として慎重に審議した結果、別紙のとおりである。

以上

国立研究開発法人情報通信研究機構の第6期中長期目標（案）  
に対する総務省国立研究開発法人審議会の意見

国立研究開発法人情報通信研究機構（以下「NICT」という。）が、第6期中長期目標（案）で示された取組を確実に遂行し、その目標を達成するためには、特に以下の事項が重要であると考えます。総務大臣におかれては、これらの事項に十分留意し、目標管理に取り組まれます。

【第6期中長期目標を達成するためにNICTが特に取り組むべき事項】

1. 中長期目標の達成のためには、研究人材の確保は重要な課題であることから、適正、効果的かつ効率的な業務運営の確保に留意した適切な資源配分の下、研究開発成果の技術移転や研究開発活動の企画・マネジメント等に関する専門人材と併せ、必要な人材の確保に努めるべきである。
2. NICTの研究開発の取組と研究資金配分機関としての取組の連携を図り、一貫性をもって研究開発及び社会実装に取り組むべきである。
3. 産学官の中核・結節点としての役割を果たすことに加え、民間企業等のイノベーションを促進するための機能を充実・強化することは、重要な取組である一方で難易度の高い取組でもあることから、具体化に当たっては、効果的な方策を十分に検討すべきである。
4. 業務実績評価に当たっては、「戦略的に推進すべき技術領域」に関連する政府戦略等を明示するなど、我が国の重要政策との関係を可能な限り分かりやすく示すべきである。
5. 今後は、研究分野横断の学際的研究やエコシステムの構築といった研究領域がさらに重要になっていくとの認識の下、このような研究領域の強化策を継続して検討すべきである。